

NAOSHIMA STANDARD 2

所在地 香川県香川郡直島町
NAOSHIMA STANDARD 2

瀬戸内海に浮かぶ小さな島で、「NAOSHIMA STANDARD 2 (直島スタンダード2)」展が開催されている。2001年に行われた第1回から5年が経つ。島全体に点在する家や路地、使われなくなった施設などを会場とし、島に住む人びとの暮らしの中に芸術が入り込むイベントだ。これは1998年から本村地区の古い家屋や寺などを美術作品とする「家プロジェクト」の延長上にある。今回の展示に際し、12組のアーティストが参加している。この8年の間に、これらの芸術はより日常の中に溶け込み、風景をつくり出していることだろう。

また、この展覧会に合わせて、直島では数十年前に作られていなかった稲作を始めた。休耕田を耕し、コメをつくることで、かつての風景も再生されている。
フェリーでこの島に向かうと、妹島和世・西沢立衛 / SANAAの「海の駅なおしま」に着く(本誌72頁)。そこにも新たな風景が作り出されている。(編)



三宅信太郎:「魚島坂別荘(うおしましおざかこうげ)」(旧別荘)。



宮本隆司:「ピンホール 直島」(ピンホールギャラリー)。



草間彌生:「赤かぼちゃ」(海の駅なおしま広場)。



小沢剛:「スラグプラダ88——豊島の産業廃棄物処理後のスラグで作られた88本の仏」(直瀬)。



直島コメづくりプロジェクト。

関連記事
「直島コンテンポラリーアートミュージアム」(安藤忠雄建築研究所 / 9307、アネックス頁9607)
「角屋・直島・家プロジェクトNo.1」(宮島達男 山本忠司 / 同9907)
「南寺・直島・家プロジェクトNo.2」(安藤忠雄建築研究所 / 同9907)
「直島・家プロジェクトきんざ」(内藤礼ほか / 同0110)
「スタンダード展」(本誌0110)
「直島・家プロジェクト 護王神社」(杉本博司ほか / 同0302)
「地中美術館」(安藤忠雄建築研究所 / 同0409)
「ベネッセアートサイト直島オフィス」(西沢立衛建築設計事務所 / 同0409)

宮ノ浦

直島

総合プロデューサー 福武雄一郎
キュレーター 秋元雄史
参加作家 上原三千代 大竹伸明 小沢剛
川俣正 草間彌生 妹島和世・西沢立衛 / SANAA デイヴィッド・シルヴィアン 杉本博司 須田悦弘 千住博 三宅信太郎 宮本隆司
会期 2006年10月7日~12月24日
2007年2月24日~4月15日
鑑賞料 2,000円(各種割引あり)
撮影 渡瀬修 *本誌写真部 山森誠
http://www.naoshima-is.co.jp/standard2006



千住博:「ザ・フォールズ」「フォーリング・カラース」(左)「グラス・フォールズ」「ウォーター・フォール」(右)。



須田悦弘:「橋」(新会所)。



大竹伸明:「吉上夢/ボツコン復」(はいしゃ)。

本村・向島



川俣正:「向島プロジェクト」(向島プロジェクトハウス)。

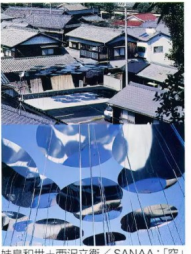
ベネッセハウス周辺



デイヴィッド・シルヴィアン:「when loud weather buffeted Naoshima (悪天候が直島に打撃を与えた時)」。



杉本博司:「Mirtoan Sea, Sounion, 1990」(左:オカメの鼻、横横間)。「S. Pacific Ocean, Teauri, 1991」(魚浦)。「Ionian Sea, Santa Cesarea, 1990」(右:オカメの鼻、ベネッセハウス側)。



妹島和世・西沢立衛 / SANAA:「空」(角屋横)。



上原三千代:「直島の局」(八幡神社拝殿)。「八幡さんへの掛け道」(八幡神社拝殿)。「いつかは鯉り猫」(上:随神門)。